令和８年度第３回幸区地域福祉計画推進会議　会議録

会議の概要

開 催 日 時		令和８年９月２５日（金）午前９時５５分から午前１０時５０分まで	
開 催 場 所		幸区役所４階　第２会議室	
出席者の氏名	委　員 （出席）	加藤満治（幸区社会福祉協議会） 軍司武夫（幸区民生委員児童委員協議会） 石井 雅之（幸区民生委員児童委員協議会）	松本健一（川崎市幸区身体障害者協会） 大塚謙一郎（幸区地域教育会議） 東樹康雅（まちのおと さいわいソーシャルデザインセンター）
	委　員 （欠席）	関川浩司（幸区医師会） 滝澤富士子（幸区町内会連合会）	三浦ひろみ（川崎市育成会手をむすぶ親の会幸支部） 出口光徳（日吉商店街連合会）
	オブザーバー （欠席）	小澤竜騎（幸区社会福祉協議会）	
	事務局	小泉（地域みまもり支援センター所長） 村山（地域ケア推進課長） 一之瀬（地域ケア推進課企画調整係主任）	上久保（地域みまもり支援センター副所長） 小田（地域ケア推進課企画調整係長） 髙橋（地域ケア推進課企画調整係主任）
議　事 （公開）		１　議題 （１）　第８期幸区地域福祉計画策定に向けて （２）　第８期幸区地域福祉計画独自広報ツールについて （３）　その他	
傍聴人の数		０名	
配付資料		資料１　第８期幸区地域福祉計画素案 資料２　「第８期幸区地域福祉計画」独自広報ツール発行に向けて 参考資料　第８期川崎市地域福祉計画の基本的な考え方について	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	開会 議事録作成のための録音、記録としての写真撮影について了承、資料の確認。
議題（１）第８期幸区地域福祉計画策定に向けて	
事務局	【資料１に基づき説明】 第８期幸区地域福祉計画の策定にあたり、市計画の基本的な考え方や区計画の素案の概要などを説明。計画策定に向けて意見や質問をいただきたい。
軍司委員	高齢者や障害者向けの災害時個別避難計画の策定を市としても進めていると思うので、幸区地域福祉計画にも取り上げてほしい。
事務局	区計画に取り入れられる内容になるかは関係する部署と調整する。
大塚委員	幸区の良いところを実態調査の結果やパターンランゲージの中に盛り込んでもよいのではないか。これまでの計画では地区カルテが見られるように二次元コードも掲載していたが、地区カルテは今後どうしていくのか。
事務局	調査項目は全市で固定されているため、別のアンケートで入れられるものがあるかもしれない。地区カルテは更新にあたりどのような形式が良いか市として検討している。
議題（２）第８期幸区地域福祉計画独自広報ツールについて【資料２】	
事務局	【資料２に基づき説明】 新たに作成する独自広報ツールについて、幅広い世代の様々な区民にも当事者として捉えてもらうために、高校生にも誌面製作に参画してもらえるよう連携の可能性を探っていることなどを説明。皆様の立場からアドバイスや意見をいただきたい。
東樹委員	スケジュールはタイトだと思われるが、高校生はどのように参画する想定か。
事務局	地域福祉計画等への高校生の疑問に区として回答していくなどの誌面を検討している。
松本委員	市内の小学校で視覚障害者の日常生活などを説明することがある。今回の独自広報ツールのような子どもたちにも幸区の取組がアピールできるものであった方がよいと思う。
事務局	ありがとうございます。
大塚委員	小学生は地域の中で頼りになる存在なので、独自広報ツールを学校の教材として役立ててもらいたいところだが、学校に配布するのは難しいのだろうか。
事務局	区内全校に一斉配布などは難しいが、個別の学校に区職員が地域福祉の説明に行くなどの機会を通じて独自広報ツールを活用できればと考えている。
議題（３）その他	
事務局	今回の議題内容にかかわらず、全般的に御意見などがあればお話しいただきたい。
加藤委員	市も区も「地域包括ケアシステム」を全面に出しているが、専門用語のように聞こえてしまうので一般の住民には理解できないと思う。「地域包括ケアシステム」で自分たちがどうなるのかと分かりやすく伝えていかなければいけない。
事務局	多くの方に理解していただけるように工夫していきたい。 他に意見がなければ、以上で全ての議題を終了とする。 次回は来年２月頃を予定している。これをもって、第３回推進会議を終了とする。

以上